


季節により変化する風 ~季節風~

季節風

夏と冬では、風がふく方向が反対になります



日本付近では、天気は西から東へと移りかわることがほとんどです。これは日本の上空(富士山よりもっと上)を、偏西風と呼ばれる西から東に吹く風が一年中吹いているからです。天気の変化をもたらす雲は、この風によって西から東にながされていきます。

これに対して、地上付近では季節によって、風の吹きやすい方向が変わります。日本では、夏になるとあたたかい南風、冬になるとつめたい北風が吹くことが多くなります。これを季節風と呼びます。

12月になるとつめたい北風が吹くことが多くなり、南国九州でも、紅葉や落葉、初雪など冬の便りが届き、本格的な冬がはじまります。

季節風のイメージ

南から吹く風は、あたたかい
北から吹く風は、つめたいね。



2015年 平成27年 12月7日 月曜日

福岡管区气象台 〒810-0052
防災調査課 福岡市中央区大濠1-2-36

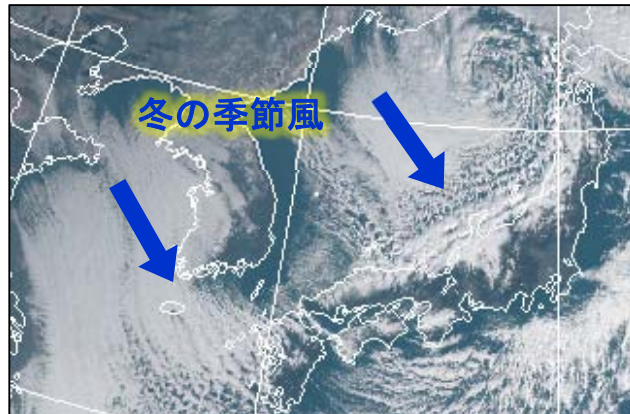
電話 092-725-3614 (記事)
092-725-3600 (天気相談所)

メール fk-kanku@met.kishou.go.jp
(ご意見・ご要望はこちらまで)

冬の季節風が吹くとき、九州の天気はどうなるでしょうか 1月の天気

1月の天気出現率

地域	晴れ	曇り	雨	雪
福岡	40%	20%	30%	10%
宮崎	80%	0%	15%	5%



上の図は気象衛星ひまわりが、11月27日09時に撮影した画像です。この日の福岡は、曇りや雨の天気です。北西の季節風が吹く寒い日でした。しかし、同じ九州なのに、宮崎は晴れの天気でした。

なぜこのような違いがでるのかは、図をよく観察してみましょう。(ヒントは地形)

季節風が吹いても、地域や地形によって、天気は大きく違います。上のグラフは、毎年1月に晴れ・曇り・雨・雪の天気などの割合で発生しているかを表しています(天気出現率といいます)。冬に晴れの天気が多いことが、プロ野球のキャンプ地に宮崎が選ばれている理由かもしれません。

<<お天気 Q&A>>

Q: 雪はどうやって予報するの?

A: 雪の予報には気温が大きく関係します。上空や地上の気温の予想により、「雨が雪か」を判断して、予報を行います。

雲は水や氷の「つぶ」でできています。冬は、地面に届くまでの間の気温が低いので、とけずに氷のままふってくる場合があります。これが、雪やあられです。

雪がとけずにふってくるかどうかは、雲から地面までの気温と湿度(乾燥しているほど、雪になりやすい)によって決まります。

また、雪がふることで、空気が冷やされて、気温が下がることもあるため、雪の予報は難しい場合が多いです。


重要 大雪が予想されると、气象台は「大雪に関する気象情報」を発表して、注意を呼びかけます。みなさんが、あまり耳にすることはない気象情報ですが、その内容はニュースや天気予報などで、しっかり伝えられています。

クリスマス寒波、年末寒波

クリスマスや年末になると、大雪になることがしばしばあることから、クリスマス寒波、年末寒波と呼ばれることがあります。

福岡では山間部を除いて、雪がつもることは少ないですが、少しの雪でもすべてケガをしたり、電車がうごかなくなったり、車のスリップ事故など大きな影響がでることもあります。雪の日の外出は注意しましょう。

かせにも注意だ。



気象情報へのアクセス

天気出現率

天気出現率 福岡 検索

雨・雪がふっている場所は

ナウキャスト 検索

